



理恵さん（左）と遥さん（右）

パワー全開 練習の成果を発揮

9月12日、全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会に出場した可児遥（蘇南中2年）さんと、国民体育大会パワーリフティングに出場した母の理恵さんが、富田市長に結果を報告しました。遥さんは準優勝、理恵さんは連覇を達成しました。

遥さんは大会新記録を出したものの、他の選手がさらなる記録を出したため、惜しくも優勝できず。今大会での悔しさをばねに、次回大会へ意気込んでいました。

100 歳おめでとう

9月13日、14日に市内在住で今年度100歳を迎える人を富田市長が訪問し、長寿をお祝いしました。該当者は14人で、そのうち9人を訪問しました。

若葉台在住の竹中芳子さんは「ありがたいことです、周りの皆さんのおかげで元気に過ごしています」と話しました。また「好き嫌いなくしっかり食べる、週3回のデイサービスを利用して周りの方と交流して楽しく過ごしています」と元気の秘訣を語ってくれました。



100 歳のお祝いを受け笑顔の竹中さん（左）



自宅から出発する花嫁と花婿

いってまいります

久々利地区で昔ながらの風習を残した婚礼が行われました。花嫁が自宅まで迎えに来た花婿と、角隠しをつけて道中を歩きます。

かつては市内でもよく見られましたが、さまざまな形式の婚礼が広がったことから、近年ではこのような光景を見ることも少なくなりました。

自宅周辺は婚礼を見ようとする人たちでにぎわい、花嫁と花婿は多くの人に祝福されていました。

東美濃ナンバープレートの実現を目指して

10月12日、「東美濃ナンバー実現協議会」が設立され、第1回会議が行われました。同協議会は6市1町（可児市、多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市、御嵩町）の首長や商工会議所、観光協会などが構成する団体です。地域経済の活性化や観光振興を進めながら、自動車の東美濃ナンバー導入を目指します。

今後は東美濃をキーワードに、6市1町で一体的な地域振興を目指していきます。



協議会の皆さん

災害の備えを住民の手で

9月3日、南海トラフ大地震を想定した防災訓練が市内各地で行われました。

桜ヶ丘公民館では皐ヶ丘自治会が主体となり、避難所を開設・運営する訓練が行われました。会場では家族構成やアレルギーの有無などを把握するための避難者カードを作成。可茂消防事務組合南消防署の職員から心臓マッサージやAEDについて教わると、人形を使って実践しました。

他にも避難したペットをケージに入れる練習や簡易トイレの組み立て、段ボールでできたベッドやテント型の個室といった防災グッズの展示、炊き出しなどが行われました。

訓練に参加した約200人の住民は、災害が起こった状態により近い環境を体験し、防災の意識を高めていました。



救急救命を体験する参加者



避難所でのペットの取り扱いを学びました



ドライバーに感謝を伝える児童

安全運転をありがとう

国道248号線の徳野南交差点付近で、今渡北小学校の児童が交通安全レター作戦を行いました。

交通安全の決意やエピソードをつづった手紙としおりは夏休み前から計画し、交通ママさんたちと協力して制作したものです。日頃の安全運転への感謝を述べながらドライバーに手渡しました。

受け取った運転手は「私も安全運転を心掛けるから、みんなも交通安全に気を付けてね」と応えていました。

三井ハイテックが柿田に進出

㈱三井ハイテックが柿田流通・工業団地に工場を新設することが決まり、9月6日に市と立地協定を締結しました。

同社はハイブリッドカーや電気自動車の駆動・発電用モーターコアの生産で世界シェア約7割を誇ります。新工場は2019年に本格稼働予定で、当初は市内で40人程度の雇用を見込み、最終的には150人規模になる見通しです。



協定書を手にする三井社長(中央)と富田市長(左)、神門副知事